

滑川中学校創立40周年 記念イベント



令和元年度 日立市立小・中学校PTA連合会スローガン
つないでいこう！きずいていこう！仲間の輪

市P連ではホームページで活動内容を報告しています。
またブログを通じて各校の活動内容を発信しています。
詳しくは右のQRコードを読み込みご覧になって下さい。



市P連ホームページ



市P連ブログ

～日立市内の小・中学校PTAでは、地域の特色を活かした多くの活動が行われております。その一部をご紹介します。～

滑川中学校創立40周年記念イベント

滑川中学校PTA会長 遠藤浩二

今年、創立から40年を迎えた滑川中学校では、**40周年記念行事**として、滑川中文化祭である潮風祭を記念イベントとして盛り上げました。11月2日(土)のオープニングでは、歴任の校長やPTA会長をお招きし、盛大に記念式典を開催。さらに、創立から40年間の写真をまとめたスライド動画が上映され、懐かしさに浸りながら、その歴史や伝統を振り返りました。



盛り上がった生徒の発表

潮風祭は、文化部の発表や生徒会企画など限られた時間の中で準備してきた成果が随所に見られ、大いに盛り上がりました。午後には、クラス対抗の合唱コンクールを行い、金賞目指し一生懸命に気持ちを込めた歌声が会場に響きました。前日までに何度も練習し、励ましあってクラスの団結を強めました。各クラスともその成果を十分に発揮し、心に響く合唱を披露することができました。そして、この潮風祭の企画から準備、当日まで生徒219名もの実行委員が中心的に運営し、生徒みずからの頑張りがたくさん感動を届けてくれました。

さらに、40周年記念行事では、生徒たちの未来を生き抜く力を磨くための記念講演として、講師に腰塚勇人先生をお招きし「**命の授業**」を行いました。



腰塚先生の記念講演

スキー事故での半身不随から必死のリハビリで奇跡の回復を果たした腰塚先生の体験談は、

生徒に命の深さを考えるきっかけを与え、これからの人生に夢を持つ生き方を伝えてくれました。



家庭の日チャレンジの展示

この記念行事に対し、PTAとしても記念品贈呈(製氷機)や会場の美化作業、食販や家庭の日チャレンジの展示(家庭の日に自分の力で料理をすることに挑戦した記録)などで運営に関わることができました。今回の記念行事を糧に生徒が発揮した主体的に団

結する力、たくましく生きる力は、まさしく滑川中で培った精神であり、次の創立50周年への繋がりを期待させられる素晴らしい感動をいただくことができました。



3年生全員による合唱発表

受け継がれる伝統

仲町小学校PTA 石黒康也

ユネスコ無形文化遺産に指定された日立風流物で知られるからくり山車4台(本町、西町、東町、北町)が一斉に出揃い、仲町小学校の前に集まる神峰神社の大祭礼をご存知でしょうか。今年は、元号が平成から令和に変わりましたが、令和初めての神峰神社の大祭礼が5月3日(金)～5日(日)で行われました。

この大祭礼では、神職、役馬、“ささら”、役員などが行列を作って巡行します。“ささら”役は、子どもたちです。神峰神社の近くに位置する仲町小学校の児童も“ささら”に参加しています。お祭りに大人から子どもまでと一緒に参加することで、子どもたちに伝統が引き継がれ、体験することで日立の文化に触れています。このイベントのために、子どもたちは日頃から地域の方にお祭り行事を教えてもらおうと同時に文化も学んでいます。

伝統や文化を受け継ぐことは重要ですが、地域のこのような活動を通して、地域と子どもだけでなく、全員が顔なじみになることや同じ話題を持つことも重要であると思います。これらの活動は、子どもへの教育促進、暮らしの安全確保、日立市の活性化にもつながっていると日々感じております。

今回のような大きなお祭りは7年に一度しか行われない貴重なものです。是非7年後に向けて参加してみたり、他の文化に触れてみたりしてはいかがでしょうか。

今後は、自分も子どもたちと一緒に微力ながら伝統を引き継いでいきたいと思います。



一斉に揃った4台の山車は壮観



ささらの巡行



全員で力を合わせて山車を引っ張る



児童が参加する子ども鳴物

多賀中吹奏楽部の地域活動

多賀中学校では、様々な部活動で生徒たちが活躍していますが、なかでも、地域に飛び出し奮闘している吹奏楽部の活動をご紹介します。

吹奏楽部は、東関東吹奏楽コンクールに6年連続出場やマーチングコンテストに出場するなど、顧問の加藤勝弘先生のもと、部員50名で活動しています。

9月14日(土)に成沢小学校体育館で行われた「成沢学区敬老会」において、2・3年生の部員31名が、地域の方々に前に5曲を披露しました。

普段は聴くことができない演歌の楽曲も交えながら、ダンスをしながら楽器を奏でる迫力のある演奏でした。演奏に合わせて歌ったり、涙を流して聴いたりしてくださる地域の方の姿もたくさん見られました。

加藤先生は「**心で演奏し、心に伝え、心で感じる感覚は、音楽にふれる全ての人にとって、かけがえのない財産だと思います。**多賀中生のこれまでの素晴らしい成果は、生徒たちの努力はもちろんのこと、何より、地域の方々が見守ったり、支えたりしていただいているから成せた事と感じています。これからも、地域の方々のお力をお借りしながら、生徒たちの成長を支えていきたいです。」と話されていました。

多賀中学校PTA会長 田村直樹



敬老会での発表



迫力ある演奏

坂本ふれあいフェスタ2019

11月23日(土)、「坂本ふれあいフェスタ2019」が本校において開催されました。これは、地域の各種団体・PTA・子どもたちとの「ふれあい」を目的とした、坂本小学校独自の「お祭り」であり、PTA最大のイベントです。本部役員はこの日のために、何ヶ月も前から準備を重ねてきました。

具体的には、地域の団体による「軽スポーツ体験」・「よく飛ぶ竹とんぼ作り」・「おもちゃの修理と相談」・「クリップモーター工作」・「お囃子体験」・「ひたち郷土かるた」、おやじの会による「つまんでビーンズ」、PTAによる「ぶんぶんゴマ」・「スライムづくり」・「新聞紙チャンバラ」・「ボウリング」・「バザー」・「くじ引き」・「エコキャップ回収&クイズ」・「スタンプラリー抽選会」・「大抽選会」といった企画です。



大抽選会

開会式では本校合奏団による演奏・地域団体のお囃子演奏等がありました。

企画終了後は閉会式を行い、抽選会では大変な盛り上がりを見せ、無事終了しました。今後とも、学校と地域とのつながり・ふれあいを大事にした、このようなイベントを続けていきたいと思っています。

坂本小学校PTA会長 渡辺勝俊



「石名坂お囃子同好会」によるお囃子演奏



ぶんぶんゴマ

山部ふれあい運動会

山部小学校PTA会長 安島絵美

9月14日(土)に毎年行われている山部ふれあい運動会が今年度も盛大に実施され、児童や保護者はもちろん、地域の方々も集まり、大切な交流の場になっています。卒業した中学生もたくさん参加し、種目や係の手伝いなどで協力してくれました。

また、昼食休憩時には山部小キャラクターの「みかんチュ」が登場し会場を盛り上げてくれました。

これからも地域の方々とふれあいながら、笑顔いっぱいの運動会が開催できるようみんなで協力していきたいと思います。



玉入れ



開会式の様子



大玉転がし



みかんチュ登場!

プロの迫力! 塙山サロン

塙山小学校PTA会長 山口新吾

塙山小学校では毎年、学校とPTAの共催で「塙山サロン」を開催しています。土曜授業に併せて、児童と保護者がプロの演奏を間近で体感できる催しです。今年度は9月7日(土)に開催されました。

会場は体育館ですが、ステージは使わず演奏者と観客は同じ床面でかつ近距離とし、更に低学年の部と高学年の部に分けて一度の人数を少なくするなど、臨場感を増すための工夫をしています。

演奏者は毎年異なる方々を招いており、今年はパーカッショングループ「ジルトーン」に来校いただきました。

拍手に乗って颯爽と登場。ジルトーンさんはピアノ、フルート、パーカッションの3人組です。



間近で見る演奏は迫力満点



ジルトーンの演奏

会場にはたくさんの楽器が並んでおり、児童とのクイズ形式での楽器の紹介の後、いよいよ演奏です。至近距離からのプロの生演奏に圧倒、大興奮です。

校歌をサンバや時代劇風に編曲したものや子どもたちの大好きなディズニーやジブリの曲もあり、曲に合わせての大合唱など、大盛り上がりです。

他にも児童たちの楽器体験や

ノリノリの音楽に合わせてみんなで踊る場面もあり、保護者も含め非常に有意義な時間となりました。

塙山小伝統のこの行事、子どもたちのために今後も大事にしていきたいと思えます。来年はどんな演奏家の方が来るのか、今から楽しみです。



クイズ形式の楽器紹介



先生もノリノリ

滑川地区文化祭・ふれあい福祉まつり

滑川小学校PTA会長 中島裕信

11月2日(土)に開催された「滑川地区文化祭・ふれあい福祉まつり」に全校児童が参加しました。地域行事の活性化と児童の豊かな体験をねらいとして、お隣の交流センターと土曜授業でタイアップした、今年度が初となる試みです。

学校の体育館では、「アイマスク歩行体験」と「車いす体験」を行い、障がいのある方の不便さを体感し、自分たちに何ができるのか、どう行動したら良いかについて考えました。

もう一つの活動は「ひたち郷土かるた体験」です。地域の方々と一緒にPTAメンバーも審判員に加わって、競技ルールに従いつつも適度に緩く、楽しく体験することができました。高学年はさすがにスピード感のある白熱した試合になりました。

交流センターでの活動は「ふれあい動物園」と「展示作品見学」そして「100円お買い物」です。

かみね動物園から出張してきてくれたヘビを首に巻いたり、ウサギを優しく撫でたり、低学年はなかなか列が進みません。また、地域の皆さんのご厚意で児童たちのお買い物は全品100円均一です。どれにするか迷いながらも、自家製のパンやケーキなどを楽しくお買い物ことができました。

毎年恒例の楽しい土曜授業となるよう、今後もコミュニティと一体となって協力していきたいと思っております。



ひたち郷土かるた体験



展示作品見学

令和元年度おやじの会活動

久慈中学校PTA会長 百田 仁

11月10日(日)久慈中学校で行われた「おやじの会」活動を報告いたします。

久慈中学校では毎年この時期に「おやじの会」活動として学校内の環境整備活動を行っています。今年は保護者17名、生徒22名、校長先生をはじめとする先生10名、地域の皆様8名が集まりました。

活動内容は「校舎～体育館間通路の塗装」「体育館脇 防風ネットの修繕」「グラウンドネットの修繕」を行いました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。

先生方の事前準備として校舎と体育館を結ぶ通路内側の破損したパネルを職人技で補修していただき塗装まで仕上げてありました。また、お母さん方も作業に参加していただきました。手すり周り等の刷毛塗り箇所は看板屋さんのプロの技を伝授していただきました。



お母さん方も参加



防風ネット補修

体育館脇の防風ネット補修には生徒が大活躍！

破れたネットの補修・今後の暴風雨にも耐えられるように結束バンドを使用してフェンスに固定していきました。

3度の台風で大きなダメージを受けたグラウンドネットには地域の皆さん(漁業関係者・漁網店・電気工事業者)のご協力をいただきました。手の届かない場所には高所作業車を使用し、提供していただいたネットを漁業関係者の皆さんが手際よく編み込んでいきます。



高所作業車の出番

活動後はどの作業も美しく完了することができました。

久慈中学校PTAでは、地域の皆さんと連携して生徒の皆さんが快適な学校生活を送れるように活動をすすめていきたいと考えています。



グラウンドネット補修

日立市立小・中学校 P T A 連合会

会長挨拶

会長 木村雅史



日頃より当会の活動に対してご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

私たち日立市立小・中学校 P T A 連合会(日立市 P 連)は、「つないでいこう！きずいていこう！仲間の輪」のスローガンのもと、市内各校での P T A 活動の情報を交換しながら、今の時代にあった P T A 活動を考えることが出来る環境づくりと仲間づくりを進めて参りました。

P T A 活動の目的としては、学校のサポートをするだけでなく、子どもたちが健全に成長するために保護者と先生とが協力して活動すること、その活動のために私たち自身が学んでいくことだと思えます。

日立市 P 連では、“学び”の機会として、6月に保護者のためのメディア講習会、また、12月には親子のコミュニケーションに関する講演会と、子どもたちへの受動喫煙防止の観点から「タバコ」に関する講演会を各校の P T A 会長、母親委員に参加いただき開催しました。

また、情報交換の場として「ひたちの P T A 井戸端会議」を開催しました。この会議では、毎回テーマを変えて、各校が抱える悩み事を参加した多くの方々と議論し、解決の参考になる情報などを交換することが出来ました。

そして、母親委員会では、これからの P T A 組織や運営について他校の事例から母親目線での意見交換を行いました。

講演会で学んだことや会議で得られた多くの情報は、これからの各校での P T A 活動にもぜひつないでいただければと思います。

日立市 P 連と各校の活動や情報については、日立市 P 連のホームページ、ブログでも紹介しておりますので、こちらも参考にしてください。

最近、P T A の話題がメディア等で多くなっていますが、P T A 活動は参加することで子どもたちや、私たちのための多くの情報を得ることが出来ます。その情報や人とのつながりは、今後の私たちの生活の中にも必要になることがたくさんありますので、これからも、未来の子どもたちのためになる P T A 活動をみんなで進めていきたいと考えます。

最後に、一年間多くの皆さんにご協力いただき、本当にありがとうございました。



生涯学習委員会

令和初の生涯学習委員会は、『せっかく会長になったのだから！みんなで進もう！！』を活動のテーマとし、15名で活動して参りました。活動としては、9月から11月まで毎月1回「ひたちのPTA井戸端会議」を開催し、PTA活動での悩みをテーマに取り上げ、各校での解決方法や問題の共有を図りました。2月にはフリーアナウンサー「たかとりじゅん」さんを講師にお招きし、入学式や卒業式等で子どもたちに伝える・届ける「ことば」について学ぶ機会を設けました。1年間、活動に協力をいただきましてありがとうございました。

委員長 草地 学



未来委員会

今年度の未来委員会は『学び合い 助け合い 共に育む市P連の絆』のテーマのもと、主な事業内容「第2回単P会長会議主管」のために、15名で活動して参りました。

第2回単P会長会議の企画・運営について入念に準備をし、当日は無事終えることができました。これぞまさに「市P連の絆」によって成し遂げられたものだと思っております。

最後に、委員会活動にご理解・ご協力いただいた皆さんに感謝申し上げます。

委員長 安 浩司



情報委員会

今年度の情報委員会は、『情報の有効活用で広がる活動』をテーマに14名で活動して参りました。

ブログを積極的に更新し、各単Pの活動を出来る限りリアルタイムでお伝えすることで、それぞれの単Pでの活動に参考にさせていただこうと考えました。また本広報紙作成では表紙の滑川中学校、仲町小学区の大祭礼取材しました。その他、広報紙記事の執筆にあたっては情報委員全員で取り組みました。1年間たくさんの協力をいただきましてありがとうございました。

委員長 磯崎潤一



母親委員会

母親委員会は日立市内の活動だけでなく、県及び県北女性ネットワーク委員会の下部組織としても活動してきました。その中でも、8月の子どもたちのモチベーションをあげる講演会についてたくさんの方から好評をいただきました。これから子どもたちのために、そして保護者のためになるような活動が続いていくことを心より願っています。

委員長 金丸さつき



第67回日本PTA 全国研究大会 兵庫大会 参加報告

市P連会長 木村雅史

8月23日(金)～24日(土)の2日間、兵庫県で開催された「第67回日本PTA全国研究大会」に、県内各地から集まった55名(日立市P連から2名)の仲間たちと参加してきました。本大会のスローガンは『つなげよう「いのち」のバトン

次世代を生き抜く子どもたちへ ～地域とともに育む力 兵庫から～』とされ、全国から約8000名のPTA会員が集い、一緒に学びました。

1日目の分科会では、上越教育大学の高橋知己先生による「いじめの未然防止、早期発見のために考える」を聴講しました。

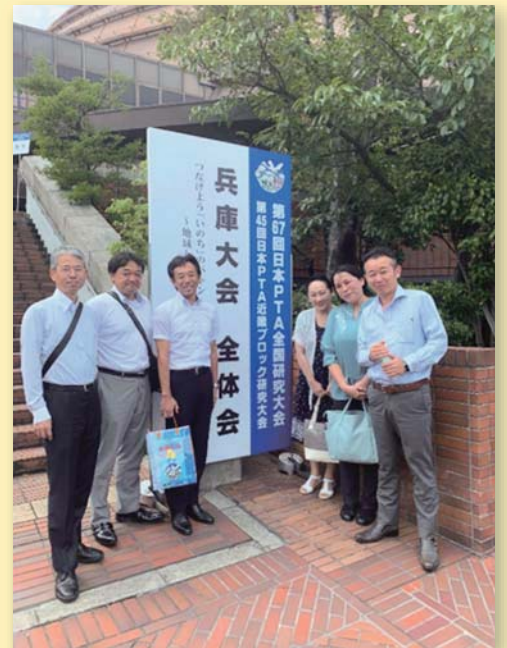
講演では、いじめはなぜ発見しにくいのかを「生徒の要因」、「教師の要因」と「発見方法の不備」の3つに分けて分析した結果から、いじめはネットやSNSなどを含む複合的な理由により、周囲から見えにくくなったり、気づきにくくなったりしている傾向があるとの報告があり、学校と家庭、保護者同士で共に気づき、共に考えることの重要性について、改めて学びました。

2日目の全体会では、メンタリスト DaiGo 氏による「子育ては、心理学でラクになる」を聴講しました。

普段、テレビなどで見る DaiGo さんですが、講演ではこれまでご自身が学ばれたことの中から、子どもとの接し方や普段の生活が楽にできる方法の考え方など、多くのヒントを話していただきました。

この大会期間中は講演だけでなく、県内のPTAの仲間たちとずっと行動を共にしながら話し合いや情報交換ができ、たくさんの発見があったとても有意義な2日間でした。

来年の全国大会は、富山大会です。ぜひ、参加して多くのことを学んでいただきたいと思います。



県北P連の皆さんと



分科会の様子



日本PTA全国協議会会長の挨拶

日立市教育振興大会発表報告

特色ある P T A 活動

～わたしの考える P T A 会長と諏訪小学校 P T A～

諏訪小学校 P T A 会長 久保木克己

8月2日(金)に開催された日立市教育振興大会で、特色ある P T A 活動として諏訪小が発表を行いました。発表にあたって、「諏訪小 P T A 活動が他の学校より優れているか?」「他校の参考になるような事をやっているか?」と改めて考えると、思い当たりませんでした。そこで P T A 会長としての考え、諏訪小が他校と違う点について触れ、諏訪小 P T A の特色として紹介することとしました。

本部役員は、会長、男性副会長 2 名、女性副会長 2 名、会計、特別会計、書記で構成されています。他校と違うところは、女性副会長のうちの 1 人が会長へのクレーム担当係を兼務しているという点です。会長の私が自由に振舞ってしまい周囲の方から注意を受けたり、ご意見を頂戴したりすることが多いので、それら进行处理してもらっています。

P T A 会長として一番大事に考えているのは女性役員が自由に活動出来る環境を作るという事です。女性役員が自由に楽しく活動してもらうことで P T A 本部が円滑に運営されると考えるからです。次に大事にしている事は、保護者が P T A 活動に参画しやすい雰囲気を作るという事です。「PTA は面倒くさい」や「かたい」、「きちんとやらないといけない」そういう悪い印象を払拭するために P T A 会長が率先して柔らかい雰囲気作りをしています。

これが私の考える諏訪小 P T A のあるべき姿であると考えています。



ステージ上から

母親委員会活動報告

母親委員会委員長 金丸さつき

近年子どもたちそして家庭を取り巻く環境が大きく変化しており、従来通りの P T A 活動を続けることが難しくなっています。そこに新たな活動の提案をしても、それを取り入れ実施できる学校は多くないと感じていました。

そこで今年度の母親委員会は「**つながることでみつけるヒント**」をテーマに掲げ、P T A 活動の見直しに関して情報を共有するための活動を中心に行ってきました。

PTA 活動の運営方法・頻度・時間などについての話し合いや、すでに大きな活動の見直しをしている学校の取り組みを知ることを通して、より活動しやすくする方法を考える時間となりました。

「子どもたちのためにできることをしたい」という多く保護者の方が抱えている「想い」を実現するためのヒントを今年度の活動の中で見つけていただけたらうれしく思います。

一年間ご協力いただきましてありがとうございました。



真剣に活動に取り組む



前教育長の中山氏

ー 県北 P 連 ー 茨城県県北地区 P T A 指導者研修会

駒王中学校 P T A 会長 宇野貴法

8月31日(土)、久慈サンピア日立にて行われた茨城県県北地区 P T A 指導者研修会に参加して参りました。

講演会では、東海大学体育学部一般体育研究室非常勤講師、宍戸渉氏の「**保護者が知っておきたい！スポーツメンタルトレーニング**」についての話を聞き、メンタルトレーニングすると、どのような結果を生み出すか、スポーツに限らず子育てにも活かせる宍戸氏のアドバイスについて、特に印象に残った事を、ほんの一部ですが紹介します。



宍戸先生による講演

親(指導者)が子どもに対して、やったほうがいい事、やるべき事

- 目標を明確に設定する(何をやりたいのか?)
- 夢や目標を達成するためのプラン(計画)づくり
- やるならとことんプラス思考で (マイナス思考は人から人へ移る)
- どんな結果になっても、そのプロセスを褒める
- チームワークがとにかく大切 (子ども・親・先生・地域社会にもいえる)

絶対やってはいけない事

- 子どもの前で親が先生、監督、コーチの悪口を言う
(※会社組織でも同じ事が言える、指導者に対する求心力の低下を招く行為になるため)

P T A も一つのチーム、流行の言葉を使わせてもらえば「ONE TEAM」みんなで協力しポジティブに盛り上げていきましょう。

また、今回の研修テーマ「学校・家庭・地域社会の連携を担う P T A の在り方」についてのグループディスカッションでは、各校の地域社会との連携や活動内容について情報交換をし、とても有意義な時間を過ごせました。

ー 日立市 P 連 ー 第 1 回単 P 会長会議

情報委員会 磯崎潤一

6月23日(日)、日立シビックセンターにて「第1回単P会長会議」が行われました。その中では、日立市教育委員会指導課長の森山秀一氏から「**日立市における学校運営委員会**」の説明をいただきました。

また、茨城県メディア教育指導員の水野史代氏をお招きし、講話をいただきました。演題は「**ネット社会の危機から子どもを守るために**」。講話では、いかに我々保護者がネット社会のことを甘く考え、我が子が危機に直面しようとしていることを見過ごそうとしている点を強く警告していた点が心に響きました。

また同日は第1回の委員会も開催され、各委員会とも自己紹介をはじめ活動内容について活発な話し合いが行われました。



水野氏による講演



森山氏による説明

－日立市 P 連－ 第 2 回単 P 会長会議(1)

「親子のコミュニケーションについて考える」講演会

台原中学校 P T A 会長 井坂英樹

12月15日(日)に日立シビックセンターで開催された第2回単P会長会議にて、茨城キリスト教大学生生活科学部心理福祉学科講師で臨床心理士・公認心理師でもある岩崎眞和先生をお招きし、「親子のコミュニケーションについて考える」という演題の講話をいただきました。岩崎先生は、私たちと同じく日立市内で子育てをしている「お父さん」で、私たちを「同志」と表現していただいたことから、とても身近な方の話として聞くことができました。

冒頭は小学校時代の「児童期」についてです。舞台は学校や近隣で、集団との出会いによる学び合い・遊び合い、ときにはぶつかり合いによって最初の人格形成が始まると話されました。

続いて、子どもから大人への大きな変化に向けた助走期間である「思春期」について、先生は思春期の対人関係を「ヤマアラシのカップル」に例えられました。寒くて一人でいるのは耐えられないけど、互いの棘により思うように近寄れない。そんなジレンマは私たち親子も同様で、互いに「自律・自立」と「他律・依存」の間の模索状態であるのが思春期の親子関係であると話されました。

それらを踏まえ「親ができること」として、子どもの話を聞く、「がんばれ」ではなく「がんばってるね」と声をかける、些細なことでも親から「ありがとう」と言うなど、さまざまなアドバイスをいただきました。

先生の「子育ては正解ではなく最適解を求める」という言葉が印象的でした。



岩崎先生による講演



講演の様子



グループディスカッションの様子

— 日立市 P 連 — 第 2 回単 P 会長会議(2) 「知ってほしいタバコのこと」講演会

大久保中学校 P T A 会長 有金重幸

12月15日(日)に日立シビックセンターで開催された第2回単P会長会議にて、天谷医院院長 天谷龍夫先生をお招きし、「知ってほしいタバコのこと」と題し講話をいただきました。

タバコの歴史から日本に入ってきた経緯、体に与える影響、周りに与える影響、現在行っている防止活動など、タバコに関するあらゆることをお話いただきました。

1543年にポルトガルから鉄砲と一緒に入ってきたタバコは、明治時代に戦費獲得のため国の独占事業となり大きく広まったそうです。現在日本で、癌で亡くなる方が約40万人、その中の約3割はタバコが原因だと言われています。タバコによる害は、タバコを吸っている人だけでなく、2次喫煙(受動喫煙)、3次喫煙(残留煙暴露(ソファ・衣類などに付着した害))まで影響するということです。そういった環境の中で子どもたちをタバコから守りたいという思いで、天谷先生たちは、平成12年から医師会、行政の専門委員会などで日立市の未成年者喫煙防止活動(若年者への禁煙啓発(市内幼稚園、保育園、小中学校での講演)、妊婦・子育て世代への禁煙啓発、受動喫煙防止など)を継続されています。先生方のような地道な活動に敬意を表すると共に、他人任せではなく、自分たちが率先して取り組むべき問題だと実感させられました。子どもたちは、大人の作る環境の中で生活しています。「喫煙は百害あって一利なし」子どもたちの将来を見据えて、私たち大人が一つになり行動していかなければならないと強く感じました。



天谷先生による講演



映像資料などを用いて



質疑応答の様子

これから社会を生き抜く子どもたちのために

日立市教頭会 会長 濱田 衛 (大沼小学校)

日立市立小・中学校 P T A 連合会の皆様には、日頃より学校教育活動を支えていただき、感謝申し上げます。日立市教頭会を代表しまして、あいさつさせていただきます。

急速な少子高齢化、急激なグローバル化、多様な価値観、そして多方面から大量に押し寄せる情報など先の見にくい社会を生きていく子どもたちに、「夢と希望を持ち、たくましく生き抜く力」を身に付けさせるには、教職員・保護者・地域の方々が総力を結集し支援していくことが必須の時代です。そうした力を育成するには、先ず大人一人一人が当事者意識をもち、問題解決に向けて知恵を出し合い、共有することがスタートと考えます。そして、中核となる取り組みが P T A 活動ととらえています。



『子どもたちの明るい未来のために・・・』できることから行動を起こすようにしていきたいものです。

令和元年度茨城県 P T A 振興大会表彰式典

とき 令和元年12月7日(土)

会場 ホテルレイクビュー水戸



茨城県 P T A 連絡協議会 会長表彰(団体)

日立市立中里小・中学校 P T A

茨城県 P T A 連絡協議会 会長表彰(永年功労者)

鈴木一兄さん (日高中学校父母と先生の会)

有金重幸さん (大久保中学校父母と先生の会)

第28回 茨城県 P T A 広報紙コンクール

大久保小学校父母と先生の会「おおくぼ」

家庭教育実践事例集「愛の記録」第54集

教育長奨励賞

安 浩司さん (坂本小学校)

楽しい子育て全国キャンペーン・三行詩

入賞 茨 P 連会長賞

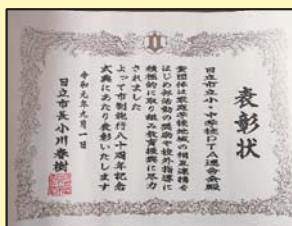
一般の部 根本夕子さん (諏訪小学校)

おめでとうございます

日立市市制施行 80 周年記念式典表彰

とき 令和元年9月1日(日)

会場 日立市民会館



教育文化功労表彰

日立市立小・中学校 P T A 連合会

編集後記

このたびの広報紙の発行にあたり、多くの皆さまに多大なご支援・ご協力をいただきました。情報委員一同、心より感謝申し上げます。これからも皆さまに親しまれる「広報紙みらい」を目指して参ります。
(情報委員会)